

第12回“夢ブック”読書感想文コンクール入賞作品

(感想文は、原文のまま掲載しております。)

『夢』いっぱい賞(最優秀賞)

大野小学校 小川 潤 (おがわ じゅん)

絵本：「ちょう おもしろい」

おなかのなかのできごとがわかったよ

おがわ じゅん

このほんをよんでおもしろいとおもったところは、だいちょうのなかで、おおきいおならのたまがちかづいてくるところです。たまがだいばくはつして、おしりのあなからとびだすところが、おもしろかったです。

わたしも、つめたいものをたくさんたべておなかがいたくなるときがあります。ほいくえんるとき、げきをするまえに、おなかがいたくなることもありました。くにちゃんやゆうちゃんとおなじだなとおもいました。のうとちょうがつながっているから、きんちょうして、おなかがいたくなっていたんだと、はじめてしりました。からだのなかでおこっていることをはじめてして、びっくりしました。ちょうというのはおもしろいとおもいました。

それに、どうしてうんちをしたくなるのか、おならがでるわけもわかりました。これからは、なんでもしっかりとべて、ちょうをだいじにしたいです。



『夢』どきどき賞(優秀賞)

巽小学校 山縣 凜太郎(やまがた りんたろう)

絵本:「ビビさんとゾウ」

ぼくのすきなところ

やまがた りんたろう

ぼくは、なつやすみに「ビビさんとゾウ」というほんをよみました。このほんは、すこしかなしいところがあります。それは、ほんにでてくるおとなたちが、ゾウさんのことを「じゃまもの」というところです。ぼくはそれを見て、いやなきもちになりました。ぼくなら、ゾウさんにやさしくします。

ビビさんがゾウをだきしめているところがあります。ぼくは、それを見てほっこりします。なかよしなすがたをみているとうれしいです。ビビさんは、ほうせきがすきではありません。なぜ、すきじゃないのかなとおもいました。たぶん、ビビさんはゾウさんのことがすきだから、ほうせきはいらぬのかなとおもいました。

ぼくがとてもすきなページがあります。ゾウさんが、こどもたちみんなとあそんでいるのです。こどもたちが、ゾウさんのはなのほったり、あたまのうえであそんだりして、みんなしあわせそうです。ぼくはそれみて、ほっこりします。

このほんをよんで、ぼくはおとうさんとはなしました。ぼくも、ビビさんとゾウさんのように、「じぶんのたいせつなものやひとといっしょにいること」が、しあわせなんだとおもいます。

『夢』どきどき賞(優秀賞)

大東小学校 宮脇 葵 (みやわき あおい)

絵本:「ちょう おもしろい」

「ちょう おもしろい」

みやわき あおい

「ちょうって、なにがおもしろいんだろう」とおもってよんでみたら、しらなかったことがたくさんあって、どんどんよみたくなりました。

とくにおどろいたのは、おならのことです。おならは、はずかしいものとおもっていたけど、からだにとってたいせつなことがわかって、うれしくなりました。

ちょうがげんきになるたいそうがあるのもはじめてしりました。ぱばとままにおしえてあげたら、いっしょにやってみようといってくれました。

それから、うしとらいおんでは、ちょうのながさがちがうことにもびっくりしました。たべるものによってからだのつくりがちがうのもびっくりしました。

このほんをよんで、ちょうのことがすきになりました。これからはちょうがよろこぶたべものをたべて、たいそうもして、からだをたいせつにしたいです。

じぶんのからだのことにもきょうみがでてきたので、またこんなほんをよみたいです。

『夢』きらきら賞(奨励賞)

黒江小学校 小西 瑛大 (こにし えいだい)

絵本:「ひみつのたからもの」

ひみつのたからものをよんで

こにし えいだい

ねこだけがすむ、なかよしのねこむらがある。くろねこには、ひみつがあって、さかながだいすきなこと。おさかながたいせつで、たからものなんだよね。だからさかなをたべないんだね。だいにそだてているんだね。

しましまねこにもひみつがあって、みんなにないしょにしてたね。だからやまへ、ことりをつかまえにいこうとさそわれてもいかないんだね。

そのたいせつなものを、くろねことしましまねこは、だれかにみせたかったんだね。

たいせつで、すきっていうきもちをわかりあえて、はなすことができて、たのしいね。

ぼくもそんな、わかりあえるなかよしのともだちが、できるとうれしいな。たのしいきもちになるだろうな。

『夢』きらきら賞(奨励賞)

中野上小学校 西中 くるみ(にしなか くるみ)

絵本:「このかべどうする?」

「このかべどうする?」をよんで

にしなか くるみ

わたしは、「このかべどうする?」というほんをよみました。

このおはなしは、けしごむくらいのこが、ノートのたかさくらののかべを、がんばってこえるほうほうをさがします。

わたしは、いろいろなほうほうのなかで、だれかのちからをかりるのがいいとおもいました。わたしなら、とりにてつだってもらいたいです。とりのせなかにのって、とんでかべをこえたいです。たかいところから、たくさんのたてもものがある、きれいなけしきがながめられるといいなとおもいました。

わたしは、はずかしがりやなので、だれかにてつだってほしいときに、じぶんから「てつだって」といえるようになりたいです。